ESA の TLS 設定に関する FAQ

目次

はじめに

TLSとは何か。

何が ESA の TLS を有効に するために必要となりますか。

受信のための TLS を有効に する方法か。

配信のための TLS を有効に する方法か。

どのように ESA が TLS を使用していたかどうか確認できますか。

<u>関連情報</u>

概要

この資料は E メール セキュリティ アプライアンス(ESA)の Transport Layer Security (TLS)の設定についての FAQ を記述したものです。

TLS とは何か。

RFC 3207 で定義されるように、「TLS は、SMTP サーバとクライアントが transport-layer security を使用して、インターネット上でプライベートな認証通信を提供できるようにする SMTP サービスの拡張です。 TLS は、TCP 通信をプライバシーな認証で強化する一般的なメカニズムです」。 ESA の STARTTLS 実装は暗号化によってプライバシーを提供します。 それは認証局サービスから X.509 証明書およびプライベートキーをインポートすることを可能にするか、または自己署名証明書を使用します。

何が ESA の TLS を有効に するために必要となりますか。

次のステップは TLS を有効に して必要です:

注: ESA はデモンストレーション証明書がテストの目的で含まれています。 デモ 証明書は セキュアでし、一般使用のために推奨されません。

詳細については ESA 認証インストール要件を参照して下さい。

受信のための TLS を有効に する方法か。

次のステップは ESA 公共リスナー(受信)と通信するリモートホストからの TLS を必要として必要です。 リモートホストと通信するリスナーのホスト アクセス 表(帽子)の TLS を有効に して下さい:

- 1. GUI に行って下さい: ポリシー > Mail フロー ポリシーを郵送して下さい
- 2. リモートホストが Policies ページ Mail フローのリスナー廃棄メニューから接続するリスナーを選択して下さい。
- 3. ポリシー名をクリックし、編集ポリシー ページの一番下に使用 TLS チェックボックスを チェックすることによって 1つ以上の Mail フロー ポリシーの TLS を有効に して下さい

詳細については、ESA リスナーの着信接続 暗号化のための TLS を有効に する方法を参照して下さいか。

配信のための TLS を有効に する方法か。

次のステップはリモートドメインのホストに配信のための TLS を有効に して必要です。

- 1. GUI に行って下さい: [Mail Policies] > [Destination Controls]
- 2. TLS を使用するドメインのための新しい宛先を追加して下さい
- 3. 同時実行制限、受信者の制限およびバウンス プロファイルを設定 するか、またはデフォルト値を受け入れて下さい。
- 4. ドメインの TLS 設定を加えて下さい (、、または)

詳細については、配信の I 制御 TLS ネゴシエーションがどのようにか参照して下さいか。

どのように ESA が TLS を使用していたかどうか確認できますか。

ESA メール ログは正常な、壊れる TLS 接続のためのエントリが含まれています。 特定の Log エントリを捜すのに**グレップ**のようなコマンド・ライン ツールを使用できます。 TLS 接続が GUI によって失敗するときまたシステム アラートを設定できます: システム 管理 > Alerts ページか CLI alertconfig コマンド。

詳細については、<u>ESA が配信か受信のために TLS を使用していたかどうか確認します</u>参照して 下さい

詳細については他の MTA のメール ユーザガイド章暗号化通信については Cisco AsyncOS を参照して下さい。

関連情報

・エンドユーザはメールのための AsyncOS をガイドします